



# 電動荷台昇降キット

2011 年度以降の Workman1® MD シリーズ作業車用

モデル番号07381-シリアル番号 311000001 以上

取り付け要領

## 取り付け

### 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	昇降ブラケット, 上 十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches) フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ) 昇降アクチュエータ クレビス・ピン コッター・ピン	1 4 4 1 2 2	荷台昇降部を取付けます。
3	スイッチ サーマルヒューズ(15 A) クレビス・ピン(3-1/2 インチ) コッター・ピン	1 1 1 1	スイッチを取り付けます

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

# 1

## マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。駐車ブレーキを掛け、キーをOFFにして抜き取る。

### 警告

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでも車両を始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

2. 荷台の右側または左側でレバーを引き上げ、荷台を持ち上げる (図 1)

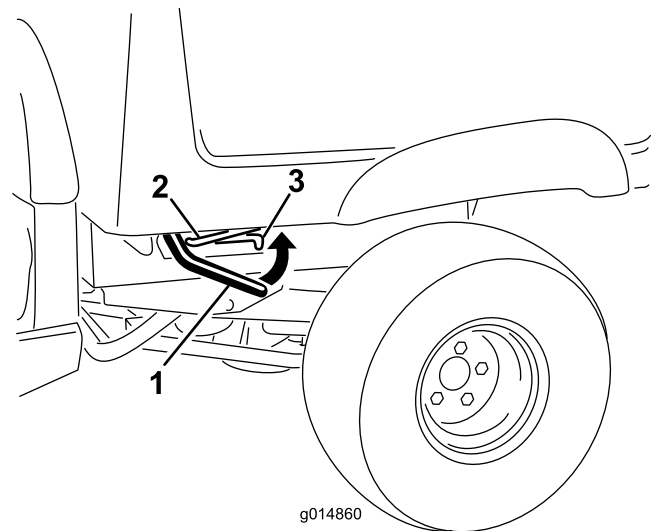


図 1

1. レバー
2. プロップ・ロッド
3. ロック位置(スロット)

3. プロップ・ロッドを固定スロットにはめ込んで荷台を固定する (図 1)。

## ⚠ 警告

上昇させた荷台が万一落下すると、荷台の下にいる人に非常に危険である。

- ・ 荷台の下で作業する時は、必ず支持棒で荷台を支えておく。
- ・ 荷台の下で作業するときは荷台を空にし、必ず安全サポートで固定する。

4. ラッチ・ロッド・ブラケットを荷台の裏側に固定しているフランジ・ナット（4本）を外す（図 2）。ロッドとラッチは捨てないこと。各キャリッジ・ボルトはそのまま穴に残し、フランジ・ナットで荷台に再固定する。

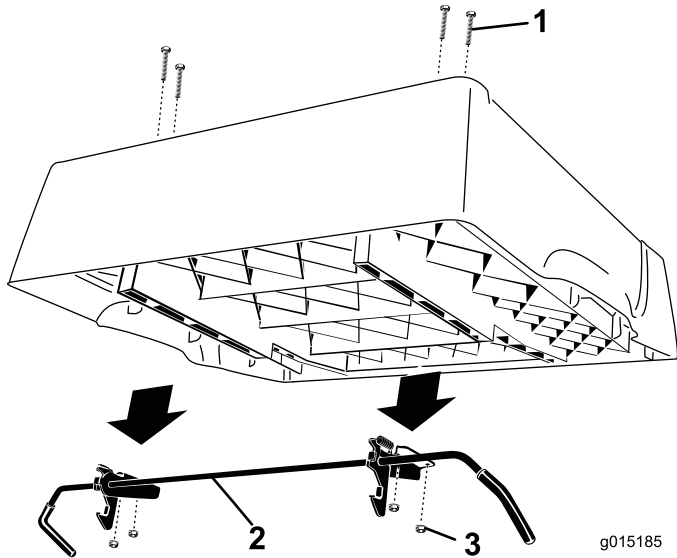


図 2

1. キャリッジ・ボルト: 荷台に残す  
2. ラッチ・ロッド  
3. フランジ・ナット

# 2

## 荷台昇降部を取付ける

### この作業に必要なパーツ

1	昇降ブラケット, 上
4	十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches)
4	フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ)
1	昇降アクチュエータ
2	クレビス・ピン
2	コッター・ピン

### 手順

1. 荷台の右側の裏側にあるボス（4ヶ所）を探し出す（図 3。3/8 インチのドリル・ビットを使って、ボスから荷台表面まで、4つの貫通口を注意深く開ける。

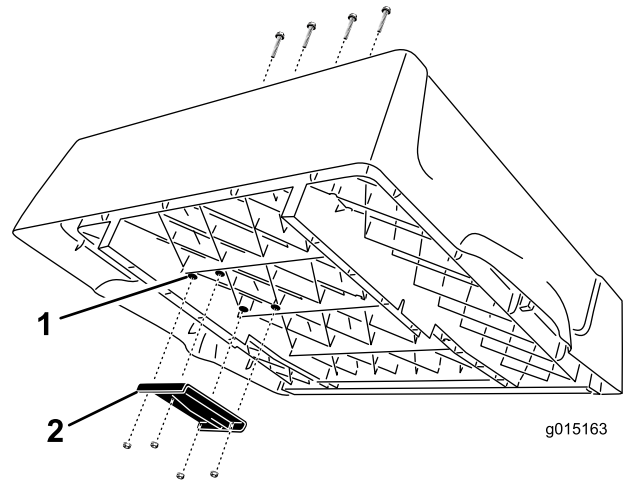


図 3

1. ボス  
2. 上側昇降ブラケット

2. 荷台の裏側に、上側昇降ブラケットを取り付ける；十字平頭ねじ（3/8 x 2-1/2 inches）（4本）とフランジ・ロックナット（Whiz lock）（3/8 インチ）を使用する。ブラケットは図 3 のように組み付ける。
3. ナットを 200 in-lb (22.6 N-m=2.3 kg.m) にトルク締めする。
4. 車両のフレームについている取り付けアームを探し出す。取り付けアームに昇降アクチュエータを取り付ける。クレビス・ピン

(2-1/4 インチ) とコッター・ピンを使って昇降シリンダを 図 4 のように固定する。

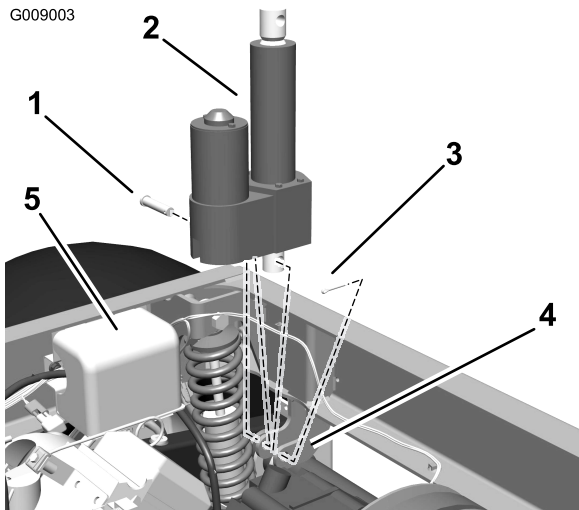


図 4

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. アクチュエータ     | 3. クレビス・ピン |
| 2. 昇降シリンダ・サポート | 4. コッター・ピン |

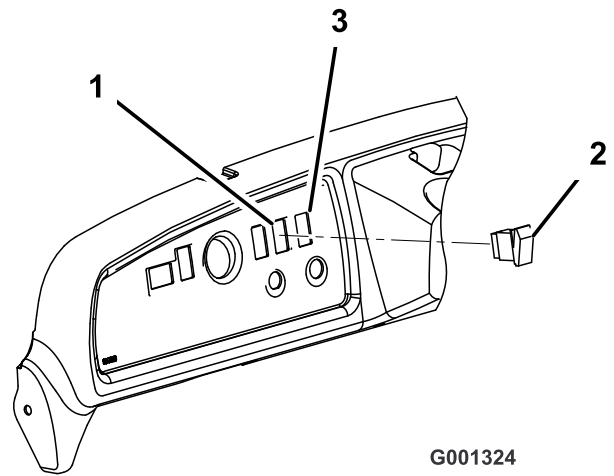


図 5

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. プラグでふさがれている穴 | 3. 新しい穴を作る(必要なら) |
| 2. スイッチ         |                  |

# 3

## スイッチを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

1	スイッチ
1	サーマルヒューズ(15 A)
1	クレビス・ピン(3-1/2 インチ)
1	コッター・ピン

### 手順

1. ダッシュボードの右側についている打ち抜きプラグを打ち抜いて外す (図 5)。

**注** もし、この穴が既に使用されている場合には、その穴から13 mm 横にずれた位置に 21 mm x 35 mm の四角い穴を新たに開ける。穴を開ける際に、ダッシュボードの裏側に配置されている機器を傷つけないように注意すること。

2. ダッシュボードのハーネス用コネクタにスイッチをはめ込む。スイッチをダッシュボードにはめこむ (図 5)。
3. ヒューズブロックの開いている場所に新しいサーマルヒューズ(15 A)を取り付ける。
4. アクチュエータのハーネスを、車両のハーネスのコネクタ (車両のフレームの右後部内側にある電気コントロールカバーのわきにある) に接続する。
5. バッテリーを取り付け、ケーブルを接続する。
6. スイッチを上押し上げて、アクチュエータ・ロッドを上側昇降ブラケットの取り付け穴に整列させる。ロッドをブラケットに固定する; クレビス・ピン (3-1/2 インチ) とコッター・ピンを使用する。
7. プロップ・ロッド (支え棒) を荷台の裏側に固定しているナットとブラケットを外す。ブラケット取り外し後、ナットは再びキャリッジ・ボルトに取り付けて、キャリッジ・ボルトで穴をふさぐ。
8. 支持棒を前にずらすと、フレームのブラケットから支持棒が外れる。支持棒は将来に備えて保管する。

**注** 将来、電動昇降装置を外した場合には、既存の締結具とプロップ・ロッド・ブラケットを使って支持棒を取り付けてください。

# 運転操作

**重要** ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

## 荷台を上昇させる

### ▲ 警告

荷台を上昇させたままで走行すると転倒の危険が増大する。荷台を上昇させたままで車両の運転を長時間続けると、荷台が破損する可能性がある。

- ・ 運転する時は必ず荷台を下げておくこと。
- ・ ダンプ操作をした後は必ず荷台を下げる習慣をつけること。

1. キーを ON 位置に回す。
2. スイッチ上部を押すと荷台が上昇する。

## 荷台を降下させる

### ▲ 注意

荷台は相当の重さになる。万一手などを挟まれると大けがをする。

荷台を降ろすときには、荷台に手やその他の部分を近づけないよう十分注意すること。

スイッチ下部を押すと荷台が降下する。

**重要** ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

**注** 荷台が完全に降下した後、およびアクチュエータのクラッチが入る前には、荷台がごくわずかに変形する場合があります。ラチェット音が聞こえたら、スイッチから手をはなしてください。